

目 次

巻頭言 岡山大学算数・数学教育学会 会長 黒 崎 東 洋 郎

実践研究論文

- 1 中野公美 ----- 1
多面的に思考し、立体模型を使って説明する力を伸ばす授業
- 2 圓井大介 ----- 7
「動的な見方」を生かした図形の概念形成を図る指導の研究Ⅱ
－第6学年「対称図形」の指導実践を通して－
- 3 姫井章孝 ----- 16
「算数的活動」を生かした算数の授業づくり
－第3学年「たし算とひき算の筆算」の授業実践を通して－
- 4 信清亜希子 ----- 26
算数科における言語活動の充実
－第2学年「たし算とひき算の筆算」の指導を通して－
- 5 片山 元 ----- 35
多様な観点から考察し、根拠を明らかにして説明する子どもの育成
－第6学年「資料の調べ方」の指導を通して－

研究論文

- 6 杉能道明 ----- 43
筆算指導の今日的意義についての考察
－第2学年「たし算とひき算の筆算」の指導を通して－
- 7 福田博雅 ----- 53
知識・技能を活用するアイデアを育てる算数の授業
－学習の転移力の視点で授業を見直す－
- 8 黒崎東洋郎 ----- 61
職能発達に応じた算数の「授業研究」の在り方に関する考察
－組織的な校内授業研究の取り組みの観察を通して－

学会だより ----- 71